

第57回放送教育研究会全国大会北海道札幌大会が大きな成果を収めて終了できました。本当にありがとうございました。

公務ご多忙の中、文部科学省生涯学習政策局参事官付メディア係長・秋元大輔様、NHK札幌放送局局長・石渡良夫様をはじめ、ご来賓の方々に温かい励ましを賜り、重ねてお礼を申し上げます。

大会の運営に当たりましては、北海道札幌大会実行委員会の先生方、特に大会事務局の皆さまには大変お世話になり、素晴らしい大会の運営をしていただきました。実行委員長の小西雅夫校長先生、事務局長の石橋徹也校長先生、次長の蔵本康彦校長先生をはじめ、札幌市内の多くの先生方、ありがとうございました。

北海道札幌市では10年振りの全国大会となりましたが、初日の放送番組を利用した授業公開には870余名の参加を得たということで、今後の教育現場の放送教育の裾野が広がるものと喜んでおります。札幌市内にあります幼稚園、小学校、中学校、高等学校、養護学校と総ての校種で地上デジタルテレビ放送新時代の新たな出発点となったと思っております。公開における番組利用がDVD、地上デジタルHDDともにデジタルならではの形態が見られ、これまでの放送番組の利用に大きな布石を投じてくれたと今後の期待と発展を感じました。全部の会場をまわることはできませんでしたが、幼稚園児の明るく輝いた眼差しで元気に体を動かした学習の様子や高校生の将来の社会生活を目指した学習の充実に放送を利用して実践の様子を聞くことができ、放送とともに番組のホームページの活用と双方向利用の一端の様子も聞くことができました。

初日の夜のレセプションでは北海道の海の幸と元気溢れるよさこい踊りの鑑賞、多くの参加者との交流ができ、大会のよい思い出になりました。北海道の皆さまの心のこもったおもてなしをありがとうございました。

2日目の全体会（札幌サンプラザホール）での田端芳恵全放連研究推進部長からの基調提案は、これまでの放送の歩み、最新の動きを踏まえてこれからの展望と過去、現在、未来にむかったまとまった内容で参加者にわかりやすく、今後の放送教育の研究に役立ったことと思います。

大会統括指導講師の鈴木克明先生には、本研究会の在り方をはじめ、公開授業校での実践が今後多くの教育現場で共有され、日常的に展開できることを期待し、また、放送とITの融合が進んでいるその時にこれまでの研究を見直して新しい時代にこれまでの課題がどう変化するかを見てほしいというご指導があり、本研究会の課題を多数いただきました。今後ともご指導をお願いしたいと思います。

最後には記念番組ということで「親と子のTVスクール」が収録されました。芝山努監督の出演で、ひとつの作品をつくるにはビジュアル的に全体像がつかめるものが大切で、その全体像を基本に具体的な展開で限らない細かいコンテがつくられていく様子の対談や特別出演の札幌市立栄緑小学校の児童のみなさんによるコンテづくり等々、芝山監督の指導のほか、前日の公開授業の様子（放送時に録画を挿入）などが紹介され、出演者と参加者が一体となった45分間でした。

最後になりましたが、大会期間、天气に恵まれ、会場周辺には紅葉が見られ、北海道の雄大な自然の美しさを感じる中で大会が盛会に終わったことを改めて喜び、大会のご尽力を頂いた皆さまに深く感謝を申し上げます。